



題字・天野貞祐

第 64号

平成17年5月10日発行

発行所 〒112-0014 東京都文京区関口3-8-1

TEL / FAX 03(3946)6352 (直通)

獨協同窓会 発行責任者 宮田和夫

----- 主な内容 -----

天野先生と獨協.....	合田 憲.....	(1)
定期総会・懇親会のお知らせ.....		(3)
平成16年度決算書.....		(4)
平成17年度予算書.....		(5)
ひろば.....獨協生にはドイツ語を.....	神谷善弘.....	(6)
平成17年度大学別合格者数.....		(7)
学園だより.....		(8)
図書館だより.....		(8)
私の近況.....		(9)
クラス会だより.....		(13)
返信はがき職業欄記入例.....		(8)

## 天野先生と獨協

副会長 合田 憲



昭和28年（1953年）1月の寒い朝、獨協生が校庭に並び天野新校長の訓話を聞こうと静まりかえっていた。「校長は壇に上がると、いきなり『人間と動物の違う所を誰か述べたまえ』と聞かれた。

.....生徒の一人が『人間には理性があります』、校長『そう、人間には理性がある、動物にはこれがない』。.....この間の緊張したやりとりは今迄の獨協にはなかった緊張として、のちのち忘れることが出来ない。.....だらだらと過していた日々に、一つのショックを与えた（卒業生 赤松恒彦）生活の中の規律を大切に守る所から、天野の教育は始まった。（目で見ると獨協百年より）昭和27年（1952年）12月27日、生徒、PTA、理事者、同窓会から切望されて、獨逸学協会学校中学の同窓生である天野貞祐博士が、第13代校長に就任した。冒頭の一文は天野先生が校長に就任した直後の朝礼の様子を伝えたものである。.....天野先生登場は当時の獨協にとって如何に大きな出来事であったかを物語っ

ている。

天野先生は明治17年(1884年)9月、神奈川県に生まれ、昭和55年(1980年)95歳で逝去された。今年、2005年は天野先生生誕121年、逝去25年に当たる。これを機会に、ここでもう一度、天野教育を考えてみたい。

天野先生は明治30年(1897年) 獨逸学協会学校中学に入学、後の進路に大きな影響を与えた第4代校長・ドイツ語学者、大村仁太郎に出逢いドイツ語の指導を受ける、大村の教えや教育に対する熱心な姿勢に天野は将来、自分も教育者になることを決意する。そして、卒業時大村校長より答辞をドイツ語で読むように指示された。大村の熱心な指導のもと、天野先生はドイツ大使臨席のもと、ドイツ語で答辞を述べ、大役を果たしたのである。少年天野が大村仁太郎に出会わなかったら、たぶん天野のカント哲学研究と教育家志望は実現されていなかったであろう。(「目で見える獨協百年」より)

天野先生は自著「教育五十年」で次のように記している。『わたしは世間の受験教育に反して人間教育を志した。...(略)...日本人は戦後になってどうして幼少からこんなに受験で苦しめられねばならぬか、これでは利口な人物はできて、大きくゆとりのある人物は出にくいであろう。...(略)...昔日の東洋の君子が今日は世界の economic animal となった根本的な原因は、才知的学校教育によると思われるのである。平生からそういう考えを持っていたわたしは小利口でなく上品な人間を育てたいと考えた。』品がある人間、上品な人間。品ということは今、わが国では全く忘れられているのではないか。勉強に励んで大学、それもいい大学へ進学すること

は大切なことである。このことと同時に規律を守る人間、上品な人間を育成することも、母校の基本方針として世間に訴えたいものである。天野先生は校長時代、「自分で自分を律する人間になれ! 行動を起す前にそれが正しいかどうか、自らがもう1度考えてみる人間になれ!」と平易な例を挙げて訓話をされた。その訓話の一字一句が脳裏にはっきりと残っている。我々のクラス会では天野語録を思い出し、当時の朝礼を再現する友人が居る程、我々には今でも心の支えとなっているのである。天野校長の遺された教えを今こそ、もう一度チェックし、学習しなければならぬのではないか。世の中は中学・高校に何を求めているのか、精査する必要がある。天野校長は「獨協は生徒の数が増えて急造された学校ではない。伝統と誇りをもった学校である。獨協生であることに自信と誇りを持ちなさい。」と常々話された。生徒も教職員もOBも、この認識に立って獨協を盛りたてて行こうではないか。

最後に天野先生が1952年校長に就任されたとき発表された「教育方針」を再度記して、筆を置きたい。「心構えは正しく、身体は健康、知性に照された善意志、ゆたかな情操とを持つ、上品な人間の育成を目ざす。

これがためには、すべての生徒にそれぞれ人間としての自信と矜持を抱かしめ、各自の天分を開発し、その長所を培養する。他日社会に出ては日々の生活に感謝と喜びを見出し、勤勉努力して社会に奉仕し、広く文化の創造に寄与する人間となることを期待するわけである。教育愛こそ本学園の情熱であり、人間教育こそ本学園の精神である。」

## 獨協中学高等学校同窓会名簿改訂版発行の運び

かねてから準備が進められていました、獨協同窓会の名簿が本年6月中旬を目途に発行される運びとなりました。昭和29年卒の桑島陽一さんを編集委員長に編集作業を進めてきましたが、同窓会報の際にご連絡したはがきなどにより住所変更などをご連絡いただいて、最新の名簿に出来上がったものと考えております。

同窓会名簿の取り扱いについては、本年4月1日より全部施行となりました「個人情報保護法」を考慮した取り扱いを考えなければならない時期ともな

りました。この件につきましては、常任幹事会のもと検討委員会を設置し、研究を進め、適正な取り扱いができるように考えてはとの意見もあります。同窓生の中には、ご自分の個人情報名簿に掲載しないようにとの申し出をされる方も何人か出てきています。確かに、同窓会の名簿が流出し、電話等による勧誘等もあり迷惑しておられる方々が多いことも事実です。しかし、一方では同窓会名簿があるからこそ様々な同窓生の交流も可能ではあります。同窓会名簿の適正な利用が考えられなければなりません。

# 6月18日に平成17年度総会

平成17年度獨協同窓会総会・懇親会を下記のように開催いたします。

日時:平成17年6月18日(土)

場所:

総会 獨協中学・高校小講堂 午後5時開会

懇親会 椿山荘 プラザ1階 ギャラクシー

午後6時30分

(受付:午後6時から)

総会付議事項:

第1号議案 平成16年度事業報告及び

平成16年度収支決算報告の件

第2号議案 平成16年度収支差額金処分案

承認の件

第3号議案 平成17年度事業計画及び

平成17年度収支予算案承認の件

懇親会費:(会場受付で頂きます)

昭和15年以前の卒業生……………無料

昭和16年～平成11年の卒業生……………5,000円

昭和12年～平成16年の卒業生……………2,000円

平成17年の卒業生……………招待

出欠のご返事は同封のはがきで6月6日必着をお願いします。欠席なさる方は付議事項をご検討のうえ、はがきの委任状欄に記名・押印してください。返信用はがきの職業欄の書き方は8ページを参照してください。

## 総会・懇親会のご案内

平成17年度の総会・懇親会を上記のように、開催致します。

総会では、前年度の事業報告、決算案(第1号議案)を協議して頂くこととなります。昨年度の決算書の収入の部では名簿発行年度の前年度の通例で会費納入者が増加しています。予算上の1600件には及びませんでしたが、会費納入者には本年度発行の名簿が送付されることになっています。支出の部では総会費が一昨年度より大幅に減少し、その一方で「名門校ベスト100」への協賛費が計上されています。ついで、第2号議案では平成16年度の収支差額金の処分案を議論していただきます。第3号議案として本年度の事業計画と予算案を議論していただくことになっています。今年の6月初旬には名簿発行が計画されており、印刷郵送費が計上されています。発行に関わる経費は名簿積立金を取り崩して充当することとなります。名簿発行につきましては、本年4月より個人情報保護法が施行されることとなり、同窓会としてもその取り扱いについて共通の理解、合意が必要かと考えますので、事務局としても会員の皆様方のご意見を賜りたく考えております。その他の事業については例年通りとなっております。

総会後は、恒例の懇親会が6時半より椿山荘で開催されます。恩師の諸先生方も多数ご出席いただき同窓生の交歓の場となっております。多くの同窓生の方々のご参加をお待ちしております。

## 現役員氏名

会長:宮田 和夫(昭24卒)

副会長:合田 憲(昭38卒)

":森上 克彦(昭47卒)

監事:大場 莊介(昭23卒)

":中嶋 眞治(昭25卒)

幹事長:中村 昭美(昭41卒)

副幹事長:谷口 有三(昭53卒)

会計:高野 邦彦(昭40卒)

会報編集:竹内 文生(昭46卒)

## 2005年度 編転入試験実施のお知らせ

獨協中学・高等学校では、一家転住者のご子息および海外からの帰国生徒を対象とした編入試験の実施を、7月中旬に予定しております。日時、学年、受験資格等詳細につきましては、教務部(若井)までお問い合わせください。

獨協中学・高等学校入試対策室

TEL 03-3943-3651

# 獨協同窓会 平成16年度 収支決算書

平成16年4月1日から  
平成17年3月31日まで

## 収入の部

(単位:千円)

科目	16年度決算額(A)	16年度予算額(B)	(A)-(B)	摘要
1 入会金	6,000	6,000	0	30,000円×200名
2 会費	7,590	8,000	410	5,000円×1,518件
3 寄付金	79	10	69	
4 事業収入	319	310	9	
総会会費	309	300	9	
名簿売上代	10	10	0	
5 資産運用収入	144	150	6	利息等
6 雑収入	57	10	47	
合計	14,189	14,480	291	

## 支出の部

科目	16年度決算額(A)	16年度予算額(B)	(A)-(B)	摘要
1 事業費	9,292	10,500	1,208	
(1)総会費	1,460	2,000	540	総会、懇親会費
(2)会報費(獨協通信)	4,738	4,800	62	62頁制作費
(3)事業通信費	1,652	2,000	348	会報発送費等
(4)慶弔費	196	200	4	
(5)渉外費	17	100	83	諸会費等
(6)クラス会補助	220	300	80	
(7)卒業生記念品費	410	500	90	
(8)中高事業補助	200	200	0	
(9)名門校ベスト100協賛	- - 399	400	1	
2 事務費	2,258	3,300	1,042	
(1)事務運営費	794	900	106	事務通信費、振込手数料等
(2)管理費	706	1,000	294	事務局費等
(3)会議費	305	500	195	
(4)旅費交通費	278	500	222	
(5)名簿管理費	107	300	193	
(6)雑費	68	100	32	
3 予備費	0	600	600	
小計	11,550	14,400	2,850	
4 収支差額金	2,639	80	2,559	
合計	14,189	14,480	291	

## 貸借対照表

平成17年3月31日現在  
(単位:千円)

利付国債	15,000	(基本財産)	
政府保証債券	4,000	基本金	17,500
		(運用財産)	
		事業積立金	25,765
定期預金	22,000	(1)名簿積立金	5,000
		(2)一般事業積立金	20,765
現預金	4,904	収支差額金	2,639
	45,904		45,904

定期預金は4行に預託。

## 収支差額金処分案

次のとおり、全額積立金に繰入のこととしたい。  
(単位:千円)

基本金	500
名簿積立金	1,000
一般事業積立金	1,139
計	2,639

# 獨協同窓会 平成17年度収支予算書(案) 平成17年4月1日から 平成18年3月31日まで

## 収入の部

(単位: 千円)

科 目	17年度予算額 A)	16年度予算額 B)	(A)-(B)	摘 要
1 入 会 金	6,000	6,000	0	30,000円×200名
2 会 費	7,000	8,000	1,000	5,000円×1,400件
3 寄 付 金	10	10	0	
4 事 業 収 入	310	310	0	
総 会 会 費	300	300	0	
名 簿 売 上 代	10	10	0	
5 資 産 運 用 収 入	120	150	30	利息等
6 名簿積立金より繰入	5,000	0	5,000	
7 一般事業積立金より繰入	1,000	0	1,000	
8 雑 収 入	10	10	0	
合 計	19,450	14,480	4,970	

## 支出の部

科 目	17年度予算額 A)	16年度予算額 B)	(A)-(B)	摘 要
1 事 業 費	14,800	10,500	4,300	
(1) 総会費	1,700	2,000	300	総会、懇親会費
(2) 会報費(獨協通信)	4,800	4,800	0	64,65号制作費
(3) 事業通信費	2,000	2,000	0	会報発送費等
(4) 慶弔費	200	200	0	
(5) 渉外費	100	100	0	諸会費等
(6) クラス会補助	300	300	0	
(7) 卒業生記念品費	500	500	0	
(8) 中高事業補助	200	200	0	
(9) 名簿作成費、発送費	5,000	0	5,000	
(10) 名門校ベスト100協賛	-	400	400	
2 事 務 費	3,300	3,300	0	
(1) 事務運営費	900	900	0	事務通信費、振込手数料等
(2) 管理費	1,000	1,000	0	事務局費等
(3) 会議費	500	500	0	
(4) 旅費交通費	500	500	0	
(5) 名簿管理費	300	300	0	
(6) 雑費	100	100	0	
3 予 備 費	1,000	600	400	
小 計	19,100	14,400	4,700	
4 収 支 差 額 金	350	80	270	
合 計	19,450	14,480	4,970	

## 会務報告(平成16年4月~平成17年3月)

常任幹事会 4月17日、10月16日  
 幹事会 5月8日、11月13日  
 総務委員会 10月2日、1月28日  
 4月2日

総 会 6月19日  
 総会準備委員会 6月12日  
 \*  
 理事会・評議委員会  
 5月27日、7月22日、9月16日、11月25日  
 1月20日、3月17日、3月24日

## 秋の同窓会日程

常任幹事会 10月15日(土)  
 母校小会議室  
 幹事会 11月12日(土)  
 市ヶ谷アルカディア



駅前も広がり、学生の街・目白に相応し瀟洒な目白駅舎に生まれ変わりました。駅構内にはコンビニ、エステサロン、パン屋さんもあり学生の人気を集めています。  
窪田 潤(昭48年卒・数学科教諭)

が獨協の教育です。」と主張されている。そして、その柱となる7項目として、「規律をしっかりし礼儀をわきまえる」「感性を豊かにする」「我慢強さ、精神的強さを身につける」「日本の文化を理解できるよう基礎的な学習をし、教養の基礎を確立する」「国語力をつけるため組織的な読書をする」「科学の基礎として、数学と物理・化学の力をつける」「英語の力をつける」を掲げられた。

しかし、120年の歴史がある獨協には、もう一つ大きな柱があることを忘れてはいないだろうか。それは「ドイツ・ドイツ語に慣れ親しむ」である。

獨協通信47号の『獨協大改革 人間教育の完成を目指す ドイツ語は選択制に活路』によると、平成9年から始まった中高6年一貫教育では、ドイツ語は中学3年から第2外国語として選択できるカリキュラムになっている。そこでドイツ語に興味を持った生徒は高校で3年間ドイツ語を第1外国語として学ぶことができる。しかしながら、中学3年で、体育、技術、ドイツ語の3教科からどれかを必修選択するという制度はいかかなものであろうか。せつかく獨協に6年も在籍するのであれば、全ての生徒に最低1～2年(中学3年～高校1年、もしくは高校1年～高校2年)は伝統あるドイツ語教育を受けさせるべきではないだろうか。

表1に示したように、文部科学省の調査によれば、英語以外の外国語を開設している高等学校は、平成3年には219校に過ぎなかったが、平成15年には653校と3倍に伸びている。そのうち、ドイツ語を開設している高等学校は100校(公立57校、私立46校)で、履修者は4275名(公立1359名、私立2916名)である。その中で獨協生の占める割合を調べてみると、わずか2.32%(99名)であることが分かった。

表2にはドイツ語履修者数の多い高等学校ベスト  
表1 英語以外の外国語を開設している高等学校数

	平成3年	平成11年	平成13年	平成15年
公立	100	343	382	432
私立	119	208	216	221
合計	219	551	598	653

## 獨協生にはドイツ語を

神谷 善弘(昭和57年卒)

「発展する母校を見ては内心誇りに思い、困難に直面している母校には何かOBとして役に立つことはないかに関心を寄せるのは、自然の情と考えます。」これは、獨協通信55号『OBと母校とは車の両輪』において、宮田会長が述べられた言葉である。

また、獨協通信56号の『伝統に学び新世紀へ』では、「獨協人ひとりひとりがもう一度獨協の良さを見出し、過去の財産を土台に、これからの獨協を考える節目の年にすべきではないだろうか。」と合田

## ひろば

副会長が力説されていた。

さて、私は中学1年から高校3年まで獨協でドイツ語を学び、現在は大阪の私立大学でドイツ語を教えている。また、高等学校ドイツ語教育研究会や日本独文学会ドイツ語教育部会に所属し、日本の高等学校におけるドイツ語教育のあり方について研究を続けている。本稿では、卒業生そして研究者の立場から、母校のドイツ語教育への私見を述べさせていただきます。

獨協通信58号の『「志を高く掲げよ」に込めて』において永井伸一校長は「将来欧米をはじめとする世界の人々にまじって活躍できる素地を形成するの

10を記した。獨協中学でのドイツ語履修者もあり、各学校の定員数が異なるので単純な比較はできないものの、同じ学園内の獨協埼玉高等学校や県立高校、都立高校に、獨協高等学校が負けているのは寂しい限りである。

獨協通信48号の『原点は「獨協のドイツ語」をどう残すか』で、ドイツ語科主任（当時）の須江康司教諭は「全員に第2外国語を必修とするのは学力的に無理が生じます。」と述べている。しかし、他教科との連携を考えるなど、学校全体の協力体制が整

表2 ドイツ語履修者数の多い高等学校

1	早稲田高等学院
2	桐朋女子高等学校
3	獨協埼玉高等学校
4	慶応義塾高等学校
5	立命館宇治高等学校
6	岩手県立大迫高等学校
7	都立北園高等学校
8	慶応義塾女子高等学校
9	獨協高等学校
10	埼玉県立伊那学園総合高等学校
11	大阪学院大学高等学校

えば、全ての生徒が興味、関心を抱いてドイツやドイツ語に慣れ親しむことができるはずである。例えば、

獨協通信59号の『天野貞祐先生の教育理念を思い起こし、奮起せんことを！』で、合田憲副会長が述べられていたことだが、「音楽」の授業でドイツリートを学び、卒業式にベートーベンの第九を合唱するのはどうだろうか。また、「家庭科」での調理実習でドイツの料理やお菓子を作るのも一興である。あるいは、「総合的学習の時間」に環境というテーマを取り上げ、環境先進国のドイツ（例えば環境都市フライブルク）について学ぶことも獨協ならではの教育になるのではないだろうか。

奇しくも、平成17年度（2005年度）は、日本におけるドイツ年であり、文化、経済、科学の三分野で多数の行事およびメディアによる情報発信が行われている。また、現在開催されている愛知万博には、自然の叡智をテーマとしたドイツ館もある。このようなドイツを直に体験できる機会を獨協生に  
表3 ドイツ語を開設している中学校

1	武蔵中学校
2	獨協中学校
3	慶応義塾普通部
4	渋谷教育学園幕張高等学校附属中学校
5	時任学園女子中等教育学校(前期)

は大いに活用してもらいたい。

## 平成17年度大学別合格者数（延べ人数）

進路指導部・平成17年4月6日現在

<国公立大学>		<私立大学>			
宇都宮大学	1	杏林大学	1	中京大学	2
信州大学	1	慶應義塾大学	5	鶴見大学	1
千葉大学	1	工学院大学	3	帝京大学	3
筑波大学	1	國學院大学	7	帝京科学大学	1
東京外国語大学	1	国士舘大学	5	帝京平成大学	3
1		駒澤大学	9	東海大学	6
東京工業大学	1	芝浦工業大学	4	東京医科大学	1
東北大学	1	順天堂大学	4	東京医療保健大学	1
横浜国立大学	2	城西大学	2	1	
首都大学東京	1	城西国際大学	1	東京経済大学	1
小計	10	上智大学	7	東京工芸大学	2
		昭和薬科大学	1	東京歯科大学	3
		成蹊大学	6	東京成徳大学	1
		成城大学	3	東京電機大学	5
		専修大学	3	東京農業大学	3
		第一薬科大学	1	東京富士大学	2
		大東文化大学	1	東京理科大学	12
		高千穂大学	1	東邦大学	2
		拓殖大学	3	東洋大学	10
		多摩大学	1	東洋学園大学	1
		玉川大学	2	二松学舎大学	3
		多摩美術大学	2	日本大学	22
		千葉科学大学	1	日本医科大学	2
		千葉商科大学	2	日本歯科大学	2
		中央大学	11	日本社会事業大学	1
				日本獣医畜産大学	1
				日本体育大学	1
				日本薬科大学	1
				文京大学	1
				文教大学	1
				文京学院大学	1
				1	
				法政大学	13
				北陸大学	1
				武蔵大学	1
				武蔵工業大学	3
				武蔵野大学	1
				1	
				武蔵野音楽大学	1
				名城大学	1
				明海大学	3
				明治大学	6
				明治学院大学	2
				明治薬科大学	3
				明星大学	6
				目白大学	1
				酪農大学	2
				立教大学	1
				立命館大学	1
				1	

● ● ● ● 学 園 だ よ り ● ● ● ●

179人の卒業生を送り出す

第57回獨協高等学校卒業証書授与式が3月10日、水上忠学園理事長、宮田和夫同窓会会長らの臨席のもと百周年記念体育館で行われた。

永井伸一校長は天野先生の言葉を引用して「学生は勉強することが本分、自分を大切に、他人を大切に、毎日を全力で生きてほしい」と語りかけた。卒業生を代表して尾上卓也君は「自由な校風の中で、自己責任の尊さを学んだ」と答辞を読んだ。同窓会から卒業生全員にDマーク入りのネクタイピンが卒業記念品として贈られた。

200人の新生を迎える

平成17年度の獨協中学校の入学式が4月6日に行われた。永井校長は「当たり前前を当たり前前にできる人になってほしい」と呼びかけた。

新生を代表して松室潤君の力強い生徒代表宣誓があった。

日本大学医学部獨協会より寄付

日本大学医学部獨協会（会長・荒川泰行医学部教授、35卒）より図書購入のための寄付申し出があった。

獨協中学・高等学校人事

退 職	三 国 康 治 (事務長)
	木 村 重 利 (国語科)
	柏 葉 洋 (社会科)
	佐々木 正 栄 (英語科)
新 任	江 辺 勝 (事務長)
	山 田 崇 (社会科)

図書館だより

5000 6000 1万3000。なんの数字がお分かりでしょうか。これは、ここ数年の図書館における生徒貸し出し冊数の推移です。そして2004年度は、ついに1万8千冊を突破しました。新校舎に移った当初が約2000冊でしたから、ざっと9倍に伸びたこととなります。

やはり充実した新刊書をそろえて生徒を迎える姿勢が功を奏したようです。いつも図書館にご協力くださいまして、ありがとうございます。今年も日大医学部の獨協会様からご寄付をいただき、次のよう

返信はがきの職業欄は、下記の記入例に従って、ご記入ください(名簿作成のための資料をより正確にするためです。)

(例1)

勤務先	獨協外科医院 (開業)		
職業別No.	29	電話	.....

(例2)

勤務先	獨協不動産(株).....部長		
職業別No.	15	電話	.....

1. 水産・農林・鉱業	25. サービス・外食・料理旅館
2. 紙・パルプ・繊維	26. 芸術・文化
3. 科学・医薬	27. 宗教・各種団体
4. 石油・ゴム・硝子・窯業	28. 学生・その他
5. 鉄鋼・金属	29. 医師：開業医
6. 電気機器・機械	30. 医師：勤務医
7. 造船・自動車	31. 歯科医師：開業医
8. 事務機その他機器	32. 歯科医師：勤務医
9. その他製造業	33. 薬剤師
10. 電気・ガス・水道	
11. 商社・卸売	医師の診療科一覧
12. 百貨店・スーパー・小売	(1) 内科
13. 銀行・その他金融・保険	(2) 外科
14. 証券・商品先物	(3) 整形外科
15. 建設・不動産	(4) 小児科
16. 陸海空運・倉庫	(5) 産婦人科
17. マスコミ・通信・広告	(6) 眼科
18. 情報・コンピュータ関連	(7) 皮膚科
19. 議員・公務員	(8) 耳鼻咽喉科
20. 教育	(9) 精神神経科
21. 設計士・エンジニアリング	(10) 泌尿器科
22. 弁護士・会計士・税理士・その他資格士	(11) 放射線科
23. 出版・印刷	(12) 麻酔科
24. 医薬・化粧品販売	(13) その他

な本を購入することができました。ごく一部の書名を記し、心から感謝の意を表します。

『地球環境読本』『人体の不思議』『数学オリンピック』『図説われらの太陽系』『深層心理』『白血病ははこわくない』『お天気なんでも小事典』『オーロラ・ウォッチング』『ガン免疫力』『相対性理論と時空の科学』『血液の事典』などです。

本当にありがとうございました。では、今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

(情報センター部主任 柳本)



## 私の近況.....卒業十年

獨協では裕福な家庭の生徒が多く、卒業後も70年に渡り付合っている。1987年には39名いたが今は14名になった。年に2回湯河原で同窓会を開いていたが、2003年で中止した。昔、カナダ人の教師と獨協のザール先生から第一次大戦の話聞き戦争は絶対にするものではないと言われた。中国に勤務して、その恐ろしさが身に沁みだ。趣味は外国語、旅行、写真、合気道。毎年椿山荘の会合に出席しております。獨協通信は参考になります。 小島 光彌 (昭20卒)

私は、昭16入学、20年4年卒業で、丁度太平洋戦争の間中、獨協で過しました。獨乙語科でしたが、3年から英語もあることになっていましたが、英語の先生(神保先生)が病気で休まれていたし、3年の秋から勤労働員に引張り出され、英語の授業は全くといっていい程、受けませんでした。戦後、大変苦労しました。高校(旧制)は獨乙語で受け、医学部は2カ国語でしたので何とか合格しました。昭28年東大卒、小児科勤務医を現在も続けています。 島 信幸 (昭20 4 卒)

4年に進級して間もない昭和19年7月7日(サイパン島玉砕の日)兵器補給廠へ動員される。卒業間近の20年3月1日の東京大空襲で学友の尊い命を奪われたことは、残念で今でも忘れられない。激動の獨協生活ではあったが、良い先生と友人に恵まれたことは、幸福であり、感謝しています。

中嶋 政信 (昭20卒)

昭和20年、4年卒です。他のしかるべき獨協生活は勉強が半分であとは学徒動員でした。しかも上・下級生との縦のつながりもなく、同期生でさえ別々の動員先に別れて働きました。ただ思い出としては未だに元気で交際をつづけている友もあり、また素晴らしい先生方に恵まれたことで、非常に懐かしく存じます。現在鎌倉市大船で細々と開業医をしています。(平成17年3月10日東京大空襲60年目に記載)

長尾 守 (昭20 4 卒)

平成16年の秋、瑞宝中綬章の叙勲を受けました。追伸、本日第63号の獨協通信をいただきました。有難うございます。私達のクラスにも台湾出身の同級生が何人かおられました。同級生の佐藤信行君が情報をクラスメートに伝えてくれるので、多少のことは知っておりましたが、大戦の終結で大変なご苦労があったことでお見舞い申し上げます。それぞれの志を貫いてご成功されたご様子で心より敬意を表します。 石岡 靖 (昭19卒)

獨協中へは、自宅から徒歩2分で楽に通学したこと、また担任の野口先生(英語)から引越記念に基石を頂き、そのお蔭で囲碁を覚えたことなど思い出します。いまは生活習慣病で通院しながら年金生活しています。 牛島 國雄 (昭20卒)

私は昭和20年の4卒ですが、当時は戦時下で私共は勤労働員でした。自宅の周辺、神田神保町、三崎町は焼夷弾により焼失しました。今年が喜寿になります。10月にクラス会を開く予定です。 神谷 秀雄 (昭20卒)

国語の大久間先生、藤間紫の発表会に招かれたお礼を「河野利貞君」に述べて「お姉さん色気が出て来ましたネ」と追加、河野君応答に窮しているのを見て「戦時国家の重苦しい時代、先生の時間は一服の清涼剤を得る思いであった。

桑原 和彦 (昭20卒)

卒業後40年余のサラリーマン生活を終えて現在は元気に自適の生活をしています。4年1組の年2回のクラス会で元氣揃いの皆様にお会いするのを楽しみにしております。

田中 三郎 (昭20卒)

左側不自由です。 寺内 秀興 (昭20卒)

先日、目白から獨協まで歩いてみました。63年前の中一時代バスで、この道を剣道具やカバンをかかえ遅刻しないように走ったのが嘘のようでした。 藤富 保男 (昭20(英)卒)

昭和27年昭和医科大学を卒業し、3年地方務めをしたのち昭和31年に現住所で内科、小児科を開業、オールドクターとして地域医療に取り組んで早や49年になります。健康の許す限り続けたいと思っております。趣味はゴルフ、カラオケ、絵画鑑賞等です。クラス会に出席しないで申し訳ありません。17年度は参加したいです。追・戦争中に4年で卒業させられ、其の后一度も母校を訪れておりません。そのうちに必ず行きたいと思っております。 宮崎 昭 (昭20卒)

卒業から50年、いまでも楽しかった獨協時代を鮮明に思い出すことが出来ます。現在は地域のシルバー人材センターの会員になり広報誌の編集なども手伝っています。追・獨協通信「63号」の戦争に翻弄された青春を興味深く読ませて頂きました。 犬山 朗 (昭30卒)

6年間歩いた目白通りは千歳世橋から大曲り(目白台二丁目)辺り迄の両側が焼野原で中学校舎の窓からは小日向台の音羽御殿(鳩山邸)ばかりが大きく見えました。狸坂(田村教頭のあだ名からとった?)をはさんで雪合戦をしましたが、先生方も負けずにスキーの妙技を披露され坂中に歓声と野次が響きわたりました。高校の校舎は老朽化甚だしく二階で足を踏みならずと建物全体が揺れ出す程でしたが素晴らしい青春をプレゼントしてくれました。天野校長先生が繰返し言われた「君達は可能性そのものだ」のお言葉を胸に私は今も走り続けています。痛む脚を引きずりながらもオリンピック出場を目指して...

加藤 正弘 (昭30卒)

## 私の近況.....卒業十周年

13年前に胃癌の手術をし、2年半前に食道癌は放射線と抗癌剤で治癒。妻が昨年3月に胃癌の手術をしたが治癒。残りの人生を二人でがんがん楽しもうと思っています。私は天彦五男（アマヒコイツオ）のペンネームで詩を書いて50年になります。 堀田 寛（昭30卒）

この3月で卒業以来50年目となりましたが、人生も仕事も全く卒業出来ず、未だに現役で仕事をしております。最近では情報化、IT化とかで学ばなければならないことも多く、70才近くになっても日常的に学習しております。母校の思い出も多くありますが卒業以来高梨先生が教頭にご就任されたときに一度訪れたのみで、余り恩返しをしていない卒業生で申し訳なく思っております。 丸山 幸三郎（昭30卒）

私はC型肝炎で17年間通院しました。ある時、主治医にインターフェロン治療を申し出た所、君は肝硬変になっているので無駄だと言われましたので別の病院に換えてインターフェロン治療を行った所、運良く完全に治す事が出来ました。この事は一つの病院の判断に任せない事だと痛感致しました。私が獨協高校に入学したのは昭和27年4月です。田舎から上京し下宿生活をはじめた関口台町（椿山荘前）は都内でも戦災にあわなかった町で家々は皆木造建築の古い町並みでした。夜などは人気はまったくなく寂しい町でした。昨年の総会に参加した折に目白駅から学園まで散策した所、木造の家はなくなり高層マンション通りに変わってありました。50年の歳月はまるで浦島太郎の感がありました。獨協学園も立派な新校舎にvari最適な環境で学ぶことの出来る後輩達は羨しいしいです。 中山 康通（昭30卒）

約20年前より山形に赴任しています。今年は何十年振りの大雪で、屋根から落ちた積雪が屋根と同じ高さになり暗黒の毎日です。太陽がこいしい。 木内 博之（昭40卒）

1年高梨先生、2年森先生、3年大久間先生と個性豊かな熱血先生に恵まれました。（元生徒会会計、剣道部主将）特に大久間先生には今でも感謝しています。獨協大学に入学、卒業できたのも先生のご指導があったからです。おかげさまで、現在も獨協大学縦柳会常任顧問、少林寺拳法部総監督をさせていただいております。 中山 幸裕（昭40卒）

いつも壇上でしかお目にかかれなかった天野校長と、文化祭で直接お話しする機会に恵まれ、感慨無量だったことを今でも忘れません。天野校長の銘「急がずに休まずに」を心得て人生過しております。 吉川 秀昌（昭40卒）

息子の大学受験で四苦八苦。やはり獨協へ入れれば良かったか。 石川 仁（昭50卒）

兄弟3人、獨協中高とお世話になりました。今年、甥っこ

が獨協中学に入学予定です。内科診療所を開業していますが、地元の医師会でも獨協出身の先輩、後輩に困まれ和気あいあいと診療にも役立っています。 菊池 崇知（昭50卒）

病院（180床）老人保健施設（100床）特老ホーム（97床）等の理事長兼院長として多忙を極めておりますが、母校柔道部の集いにはなるべく顔を出す様にしています。 木村 宗孝（昭50卒）

息子が中学受験の年になってきました。自分の楽しかった学園生活を思い起こし、是非、同じ道を歩んで欲しいと願っている今日この頃です。 大高 究（昭50卒）

中学在学中より車好き。最近では現役レーサーは無理なので、20年間サーキット走行を続けております。同期は数学の富井先生です。 斎藤 勝一（昭50卒）

総合病院の産婦人科勤務です。4年前から、中・高・大でやっていた剣道の稽古を再開しましたが、一人医長のため常にボケベルをそばに置いています。2年後の六段を夢見て。 佐久間 洋（昭50卒）

卒業から早30年、今も大学（日歯大）で毎日忙しく働いています。新井洋先生お元気ですか？家庭ではRainbow Papaしてます。（虹の父 二児の父） 鈴木 克政（昭50卒）

獨協を卒業して30年になりました。今年、長年の夢が叶って長男の中学入学が決まりました。生まれた時から心に決めてはいましたが、実現するとなると、本当に最高に幸せを感じています。追・ドクターズクラブの他に、歯科医のための獨協デンティストクラブの設立をお願いします。母校の更なる発展を祈っています。 高瀬 務（昭50卒）

病棟医長、治験管理室次長として頑張っております。 岡崎 修（昭50卒）

平成12年に歯科医院を開業しました。これからはホリスティックな視点を大切に診療をしてゆきたいと思っております。 小山 賀広（昭60卒）

早いもので、今年には自分の子供が中学受験を迎えます。残念ながら娘ですので獨協を受験する事は出来ませんが、例年以上に獨協時代を思い出します。皆様の御健勝心よりお祈り申し上げます。 中嶋 耕平（昭60卒）

医師になり今年で4年目です。だいぶ仕事に慣れてきましたが、なかなか趣味のスキーができずに少し残念です。 久保田 伊哉（平7卒）

区役所に入所して8年目となりました。昨年度の4月から総務課に異動し、自治功労者表彰や賀詞交歓会などの担当をしています。娘は今度の8月で2歳となります。 藤島 一郎（平7卒）

## 私の近況.....前号未掲載分

同級生、萩原月男君の逝去を知る。残り現在何名か知りた  
い。 井口 泉（昭6卒）

お陰様で健康に過しています。趣味の水彩画を描いて楽し  
んでいます。 水野 亨（昭8卒）

87才になりましたが、ボケ予防のため、毎日、NHKのドイツ  
語講座とドイツ語会話を聞いています。又、毎月のNHKドイツ  
語会話のドイツ語でのクロスワード・パズルに応募し年に何  
回かは当選して名前が載るのを楽しんでおります。又、ボラ  
ンティア通訳も続けております。 弓削 義邦（昭10卒）

獨協通信いつも楽しく拝見しています。私が住んでおりま  
すところは、30年程前までは田畑や緑の森林に囲まれた静か  
な農村の一角でした。今では当時の面影は無く近所付合いも  
ほとんどない多くの方々、縦横に走るコンクリートの道路、  
騒音、排気ガスに囲まれた都会並みの町となってしまいました。  
甲組、乙組と分かれた教室で教えを受けた昭和初期の旧  
獨協中学にここから通った学生時代が懐かしい187歳になった  
今日、受け継いだ僅かな土地で野菜や草花を相手に小さな静  
けさを求めて頑張っているのも乙なものです。皆様方の御健  
康と会の御発展を祈ります。 神蔵 重孝（昭10卒）

平成8～9年、通産局長賞受賞、傘寿功労者感謝状受賞、  
現在（社）日本電気協会々員で活躍中、その他学会会員。

有賀 境（昭14卒）

本年3月10日、昭和15年卒のクラス会、出席6名（青風会）  
クラス会幹事、来栖国偉氏は昨年（H15.7.27）死去され告  
別式、級友5名参加。 畠野 輝夫（昭15卒）

5年前病氣し、現在元気です。 丸毛 英二（昭15卒）

人生125才、今やっと80才、あと45年。永生きコツは趣  
味を持つこと、本年10月、私の妻が演ずる能に使う能面  
を只今制作中です。 長澤 豊行（昭17卒）

80才を生き、戦時を過し21世紀まで元気で獨協の発展を  
みて喜んでいる。 遠田 重穂（昭17卒）

皆様によろしく、79才頑張っています。内田 東五（昭17卒）

暢気に暮してます、居眠り人生。 高橋 実（昭18卒）

多病なれど現在息災の状態です。 前田 公衛（昭18卒）

昨年（2003）より健康を損ね、外出もままならない状況。

平沢 直義（昭18卒）

平成10年、軽度の脳硬塞を起こし、休院しました、愚息  
勤務医をしております、未だ帰院せず、困っています。

兒島 成男（昭19卒）

“蒲公英の一輪咲て風なごむ”卒業して60年経ちましたが  
元気で毎日謡曲を一番謡い、句作に励んでいます。

岡本 淑人（昭19卒）

喜寿、金婚式を迎える齢になった。早大機械卒、思出は、  
30代鉄研要請の新幹線用ダンパテスト機設計と40代独製本  
機で独語が少し役立った事。今も機械屋現役である。

飯郷 昭二（昭20卒）

卒業以来半世紀以上が過ぎました。在学中は昭和18年以  
降勤労動員に明け暮れる獨協時代でした。リタイヤ後、最近  
は高血圧に伴う障害治療に専念する昨今です。

志茂 昌幸（昭20卒）

戦時中の獨協生活が生涯忘れられない程、懐かしいです。

いい時代でした。 青井 保男（昭20卒）

週4日臨床に従事、あとの3日は趣味三昧の生活。

神山 一郎（昭20卒）

年金生活になって、寂しい限りです。加藤 温夫（昭20卒）  
世間は良くしたもので、老医の所には余り難しい患者は来  
なくなりました。お蔭で余った時間は雑草取りと言う名のガ  
ーデニングに励んで居ります。 桑原 和彦（昭20卒）

まだ元気なつもりです。 齋藤 昭三郎（昭20卒）

まだまだ、自己納得の仕事が完了したとは思っていません。

原田 茂久（昭20卒）

戦時中の学徒動員。そして、獨協ラグビー（ほとんどルー  
ルなし）と柔道で精神力と体力は他人に負けません。地域医  
療とボランティアに徹しています。 堀田 重光（昭22卒）  
獨協通信お送り頂きありがとうございます。経費がかかる  
と存じますので、今後ご辞退致します。よろしく。

大倉 郁雄（昭23卒）

昭和25年卒大豆会は獨協中学入学60周年記念として、高  
卒後初めて1泊旅行（房総一周）を行う。70才過ぎたのに元  
気で童心に帰って談笑・飲食しながら見物した、楽しかった。

市村 圭司郎（昭25卒）

“獨協通信”を楽しく読ませていただいております。ジムに  
通って元気に過しています。 鈴木 三郎（昭26卒）

毎度ご連絡いただきありがとうございます。学校と同窓会  
の益々のご発展をお祈り申し上げます。 土屋 隆（昭26卒）

定年退職から半年、40数年住み慣れた我が家から引越、年  
を重ねると引越は重労働、小宅が完成するまでガンバルぞ。

細野 真一（昭26卒）

通信にて、大先輩の姿にふれ、更に頑張ると決意。物故者、  
大波勇君の名に涙。暇なし。 田中 重穂（昭26卒）

横浜市での「ゴミ減量作戦G30」のサポーターとして頑張っ  
ています。4、5年後にはもっときれいにしたいと思っていま  
す。趣味のWalkingは4万kmをめざして歩いています。

与那原 邦夫（昭29卒）

## 私の近況.....前号未掲載分

69才になりましたが、現在、会社で元気です。皆様に宜敷くおつた下さい。 滝沢 丞呂務 (昭29卒)

2年前、心臓手術を行い弁3枚取りかえペースメーカーを入れましたが順調に楽しく生活して居ります。

梅田 博 (昭30卒)

リタイアして自宅にいます。 澤井 光紀 (昭31卒)

P & Gを退職後、当時の得意先である卸店で囑託として勤務中。年一回の海外旅行で見聞を広めて脳の衰えに抵抗しています。 武井 孝行 (昭32卒)

通学は神田須田町より都電で江戸川橋下車、坂の上関口台町の木造と半円形の新校舎。天野校長の朝礼、悪友・良友・善友、部活、多感な時は光陰矢の如し、46年を経過。39年間勤めた建設会社を退任、退職し37歳時に取得した技術士(建設部門)により土木の設計事務所に関わっています。職種柄10回の各地転勤により学窓・友に絶えましたが時間の出来た現在、深く反省し、旧交の機会を望み期待する昨今です。

根本 健治 (昭33卒)

本年2月に退社致しました。現在浪人生活中です。

中村 貴是 (昭34卒)

昨年10月リタイアして、今はスローライフを送っています。 深谷 菊夫 (昭35卒)

TVのCMではありませんが60才を過ぎ益々元気になり7年前に始めたピアノにも磨きがかかり、本年1月には板橋区混声合唱団のオーディションをクリアして入団をはたしテナーで頑張っています。 藤倉 榮 (昭35卒)

定年退職後、働くチャンス逃して2年を経過した。薬剤師の知識も山歩きの中で活かしているにすぎない。毎日サンデーも悪くない。これから(6~7月)は、ホイチゴの手入れに忙しい。 梅木 建昭 (昭35卒)

日本原子力研究所を定年退職し、関連会社の日本アドバンステクノロジー(株)に勤務。 安藤 俊就 (昭35卒)

4月末、山陰ツアーに参加。その道中、津和野に行きました。まさか西周先生の旧居があるとはびっくりしました。山陰で獨協を思い出しました。 黒崎 政男 (昭37卒)

45年振りに獨協中学同期会があり、孫の話で盛り上がりました。 寺島 関雄 (昭37卒)

平成16年4月1日より現勤務先で働いています。今までは治療医学が専門でしたが、予防医学に力を入れようと思えます。 佐藤 忠一 (昭39卒)

開業獣医師として32年、お陰様で体調も良く、現在、特定非営利活動法人野生動物救護獣医師協会東京支部長をして都の非常勤鳥獣保護員となり鳥獣救護センター設立に向

けて頑張っております。

新妻 勲夫 (昭39卒)

平成11年より府中市の調剤薬局で管理薬剤師をしています。

小松 邦彦 (昭41卒)

ワンゲルOB会(会長:35年卒・佐藤八郎、幹事:49年卒・中野茂)の先輩や後輩の方々ど「中高年の低山歩き」やスキーを楽しんでいます。OB会HPアドレスは、  
[http://www31.ocn.ne.jp/~dokkyo\\_wv/](http://www31.ocn.ne.jp/~dokkyo_wv/) です。

長瀬 治 (昭43卒)

下町根津で生まれ育ち、台東区池の端で歯科医院を開業し早くも20年近くになろうとしています。お陰様で元気で仕事に励んでいます。 渡辺 明 (昭43卒)

役員ドライバーとして、勤務しています。

稲垣 裕行 (昭44卒)

障害者年金で生活しています。現在慈雲堂病院デイケアに通って居ります。 杉浦 和夫 (昭46卒)

個人情報保護のためにTel等を名簿に載せる事を拒否いたします。この名簿発行の後、必ず「獨協の...」という言い方でセールスのTelが入り閉口しております。

荻野 厚 (昭48卒)

6月に勤続25年の有給休暇を2週間頂き、家内共々イタリア旅行に行ってきました。高校卒業30年の節目でもあり、心身共にリフレッシュ致しました。 鈴木 茂行 (昭49卒)

高校時代に鉄研部に所属していたせいか、最近では自動車よりもJRを利用して旅行を楽しんでおります。何といても時間が正確、渋滞なし、疲れ知らず、やっぱり旅は鉄道に限る! 田中 謙光 (昭50卒)

家業、印刷業の経理の仕事をしています。

入野 満哉 (昭51卒)

公的な市民になるための教育を、天野先生の掲げた獨協精神を大切に思いながらすすめています。 塩瀬 治 (昭52卒)

卒業後、日本大学医学部より女子医科大学へ入局し内科を勉強しました。現在は家内と2人で越谷で内科を開業しています。市内には獨協越谷病院や獨協埼玉があり、やはり獨協と縁があるようです。 大関 弘之 (昭52卒)

毎年親しい友人20数名と獨協会を開催してきましたが、今年は6月に温泉一泊旅行を企画しており、今から楽しみにしています。長男も獨協2年生、ついに身長で並ばれてしまいました。 西原 由恭 (昭53卒)

昨年11月22日、長男が誕生し、1男1女の父となりました。毎日、子育てに奮闘しています。医師会の理事も5年目となりました。 野村 芳樹 (昭54卒)

40を越えて、なんと音楽活動を始めました。月1回、都内

のライブハウスで演奏をしています。三浦 廣之(昭56卒)  
40才を目前にして、体力のおとろえを感じています。考えてみれば自分が獨協中学に入った年の父親の年齢にもうなってしまったのですから……。

鈴木 一成(昭58卒)

5月に結婚し、野方の地にて新生活をはじめました。

望月 創史(昭60卒)

現在は三井住友銀行市場営業部にてアジア通貨の為替ディーラーをしています。

岡川 聡(昭62卒)

平成15年10月より開業いたしましたので変更お願い致します。

三井 義久(昭63卒)

転科して、新しい科で新たな一歩を踏み出しました。

前原 幸治郎(平1卒)

運動不足のため体重が増えてしまいました。学生時代を懐かしく想っています。

加藤 順一郎(平5卒)

小動物臨床頑張ってます。

井戸 大介(平5卒)

今年の2月よりシリコンパレー勤務となり3年の予定で海外勤務です。母(代筆)

田部井 亮(平7卒)

宇都宮に来て3年目に入りました。獨協医大まで車で20分です。緑豊かな那須、鬼怒川を背に頑張っております。

須川 淳太(平10卒)

現在、国立奈良先端科学技術大学院の一年です。遺伝子の研究をしています。

澤江 壽一(平11卒)

携帯電話が普及する前に卒業しましたが、最近少しずつ中高時代の仲間と連絡がとれるようになってきました!

廣川 隆太(平11卒)

大学で多くの友人や教官方に囲まれ、自分の未熟さを痛感しております。学生時代にしかできない勉強とバカを充実させてゆきたいです。

氏橋 亮介(平15卒)

勉強も寮生活も楽しく、充実した日々を過しています。(母・代筆)

三輪 隆太(平16卒)

### クラス会だより

#### 昭和25年卒 大豆会

思えば我等は、昭和19年4月青雲の志を抱いて獨逸学中学校に入学して、お互い終生“水魚の交わり”の友と成って以来60年が過ぎ、それを記念して卒業後始めて平成16年3月27日、28日に房総一周の旅行を行った。途中サッポロビール工場、いわし博物館等見学し温暖な房総の早春の花畑を見て、宿の“サンライズ九十九里”に1泊した。

美食・美酒に酔って大いに談笑し、黎明に至りて朝風呂の湯船から雄大な黄金の太陽が刻一刻と大海原の上に昇って行く荘厳さに皆感動し、更なる親交を旭日に向かって固く誓い合った。

(市村 圭司郎・記)



#### 昭和26年卒 ドイツ語組クラス会

平成16年12月1日(水)神楽坂「トリノ」にて

開催。出席者16名、急用により永瀬・倉田両君が欠席となりました。写真には、久保木・斉藤両君が途中で退席したので14名となりました。

出席者の中には体の故障をかかえている者もありましたが、アルコールが入ったの意気昂揚ぶりは相変わらずでした。学生時代からの懐かしい写真を持って来てくれた者がおり、話の輪を拡げて楽しむことができました。

われわれは、昭和20年に獨逸学教会中学校に入学し、昭和26年獨協学園高等学校(第3回)を卒業しました。戦後の混乱期で、中途退学、転入学する者が多く、目下当時の同級生の消息を皆で追跡していませんが、新しくはなかなか見出し難い状況です。次回は10月に行うこととし、元気に集うことを楽しみに散会しました。(土屋 隆・記)



#### 昭和34年卒 辰巳会

11月6日午後5時より、恩師神田直人先生をお

## クラス会だより

招きし、新宿西口の「魚一丁」にて辰巳会を開催しました。神田先生以下18名の他、5組英語クラスの河野満君、6組英語クラスの神谷俊次君にも出席戴き、和やかな雰囲気での歓談となり、神田先生からは中国旅行の経験談、見所の景勝地なども伺い、2時間が盛況の内に散会となりました。

席上、幹事から来年65歳を迎えるに当たり、各クラス有志と34年卒の合同同期会を開催する計画が発表されました。日時は「平成17年10月15日（土）夕刻より」と決まりました。辰巳会の次回はこの同期会に合同で参加の予定です。

(辰巳会幹事 原 鏡一・記)



### 昭和38年卒 三八会

2004年11月27日、原宿で昭和38年卒同期会が開かれた。今年は還暦にあたり、一つの区切りの会となり30名の同期が集合した。昨年、卒業40周年同期会を行ったので、集まり具合は今一歩であったが、久しぶりに顔を合わせた仲間の歓談はいつまでも楽しく続いた。誰言うとなく、年一回、11月の最終土曜日に集まろう、ということになり、来年も実施することになった。出席者全員健康を祈念し、2005年11月の再会を約束して、散会した。

(合田 憲・記)



### 昭和41年卒 ドイツ語クラス

平成16年10月24日（日）、品川のパンフィック東京の中国料理店「冠園」にて、糸井先生をお迎えして昭和38年高校入学のドイツ語クラス1年3組一同による「2004年、糸井先生を囲む会」を行いました。ドイツ語クラスに入学以来、1年生のメンバーとしては実に41年ぶりのクラス会で、55名のクラスメンバーの内20名が出席し旧交を温めました。また、会の数日前に世界一周ツアーから帰国され、益々お元気なご様子の糸井先生から各国の帰港地のお話をお聞かせいただくという貴重な機会ともなりました。出席した全員が、心から楽しむことができ、大いに盛り上がった日曜日の午後となりました。

(伊藤 新・記)



### 昭和53年卒 獨協有志の会

平成17年3月13日（日）有楽町「大雅」にて、昭和53年卒獨協有志の会超遅い新年会が行われました。平日は皆が忙しく、日曜の夕方より楽しく語り合いました。卒後30年近く経ち、皆社会の第一線で活躍している様子、お互いに励まされました。次回は超早い忘年会を行う予定です。皆さん頑張りましょう。

(西原 由恭・記)



### 昭和54年卒 柏葉先生クラス会

去る平成16年10月2日(土) 来春退任予定の柏葉先生をお迎えして、池袋の御法(みのり)にて昭和48年中学入学(柏葉クラス)のクラス会を卒業以来初めて開催いたしました。48人の卒業生のうち30名もの参加があり、柏葉先生も中学時代の授業時と同様、生徒全員の出席(出欠)を取られるなど、和やかな雰囲気の中、4時間以上も宴は続きました。締めくくりに柏葉先生への感謝の気持ちを込め記念品を贈呈させて頂き、又、翌年の再会を約束しお開きとなりました。

(愛知 孝郎・記)



### 昭和57年卒 同窓会

平成16年5月30日(日) 椿山荘タワー10F・フリージアにおいて、獨協高校昭和57年卒同窓会を開催いたしました。

当日は3組主管・田代雄一先生、副主管・高木修先生、4組主管・萩野元祐先生、5組主管・木村重利先生を迎え66名が参加しました。卒業後22年が経ち、久しぶりの再会に最初こそやや距離感のある人たちもちろほら見られていましたが、それも何時しか昔のにぎやかさに戻り、各先生方のお話の時などでは、当時見られなかったような熱心さで耳を傾け、皆かつての良き生徒?にタイムスリップしたかのような2時間でした。当初クラス会の予定であったが、気がつくと1組から6組まで参加の学年会となりました。次回以降は今回参加できなかった方々も含めて、クラス会の垣根を越えて再会する事を切に願ってやみません。今回の幹事の方々の努力に感謝し、次回もぜひ参

加したいと思っております。(大村 桂司・記)



### 昭和57年卒 同期会

平成16年12月4日、池袋・WAKAN DINING わかんざにて開催しました。高校を卒業後12年ぶりとなるクラス会にもかかわらず、我々の主管である富井源三先生を含む16名の参加。久々の旧友との再会ということもあり大いに盛り上がりました。今回のこの会では、ちょうど我々の年齢が30才というキリのいい年でもあり、また次回、節目の35才の時に会うことを約束し散会となりました。(田口 兼・記)



### 平成12年卒 3年5組同窓会

新しい年を迎えて1月6日、池袋にて担任であった高畑先生交え、平成12年卒3年5組同窓会を開きました。卒業してわずか3年ながら、みな将来に希望を持ち、励んでいる様子でした。また高畑先生もたいへんお元気で、みな高校時代に戻ったようでした。今回は進学準備や就職活動などに重なる時期であったため残念ながら参加者は高畑先生を含めても13人と少数でしたが、1組だった岡野君も飛入り参加や高校時代の裏話などもあり、たいへん賑やかな会となりました。

クラス会だより

来年度は卒業して5年目を迎えます。大学を卒業し新たな世界に飛び込んで行く者も多く、それぞれの生活に変化見られてくると思われますが、健闘を誓い、次回更なる盛り上がりを約束し写真撮影後、散会しました。(齋藤・記)



元で病院を経営しておられる秀嶋さん、府中から参加された重広さんなどから昔の獨協生の生活ぶりなどご紹介があり、幹事の西野谷さんを始め皆様方のご努力で楽しい会となりました。(竹内 文生・記)

第一回杉並獨協会

平成17年4月22日に杉並区に在住在勤する同窓生が集まり第一回杉並獨協会を阿佐ヶ谷の「鈴江」にて開催しました。同窓会名簿によると区内在住の同窓生は400名を超え、開催の案内を送付しましたところ、約120名の方々からご返事を頂、内約40名から参加のご返事を頂きました。昭和15年卒の伊藤さんを始め、平成3年卒の石田さんまで38名の参加を得て、様々の世代の方々楽しいひと時を過ごすことが出来ました。大先輩の方々からは戦中の勤労働員で勉強をしなかったこと、天野先生世代からは天野先生の訓示のご紹介などあり、同じ目白台の校舎で学んだ同窓生のたての絆を実感しました。最後に校歌を斉唱して次の開催を約し解散しました。(金 有一・記)

武蔵野獨協会

平成16年12月8日、武蔵野獨協会を吉祥寺の「大浜」にて開催しました。武蔵野市を中心として近隣に住む15名が参加しました。大久間先生のご参加もあり地域の同窓会ならではの諸先輩方との世代を越えた交歓は楽しいひと時でした。地



物故者名簿(獨協通信) 62号以降)

卒業年	氏名	物故年月日	昭16	鈴木 武伸	平16.10.21	昭27	蒲沢 年彦	平16.8.29
昭02	多田 勤	平12.1.9	昭17	遠田 重穂	平16.11.24	昭27	大橋 禎	平16.11.11
昭05	近江 正	平16.3.9	昭17	奈良 明雄	平15.12月	昭27	高山 茂	平16.1.16
昭05	西片 兵衛	平16.9.1	昭17	松村 富士雄	平15.9.13	昭28	鈴木 国司	平15.3.20
昭05	照井 悌三	平17.2.16	昭17	大橋 志朗	平16.1.13	昭30	小西 義次	平14.10.22
昭10	佐藤 龍三	平15.8.12	昭17	額田 定	平16.2.10	昭30	小野田 武	平17.1.5
昭10	南条 奎一	平17.1.26	昭18	田村 真造	平13.5.28	昭36	林 立夫	平8.12.8
昭12	竹内 利信	平10.12.22	昭18	小峰 勇	平14.6.17	昭36	沢辺 忠美	平16.3.3
昭12	大前 寛容	平14.12.26	昭20-5	山口 隆	平16.2.24	昭40	松原 美智雄	平14.3.2
昭14	三坂 芳郎	平14.9.19	昭20-5	北澤 健男	平16.8.7	昭41	粕川 哲男	平15.11.22
昭14	平野井 直英	平15.3.20	昭20-5	神吉 和男	平16.10.20	昭43	今野 明士	平4.10月
昭15	来栖 国偉	平15.7月	昭20-5	菱田 英之助	平17.2.14	昭44	秀村 恭紀	平16.12.6
昭16	小林 一郎	平16.7.25	昭22	伊藤 慈郎	平13.12月	昭47	深瀬 和茂	平17.2月
昭16	米倉 治郎	平16.8.27	昭22	鳥田 義太郎	平15.7.27	昭61	内藤 茂人	平16.7.24
昭16	小川 孝徳	平16.9.26	昭24	飯田 雅男	平15.6.25	平03	小幡 晃嗣	平15.11.22